

高度利用者向け 緊急地震速報受信機

EQ Station



揺れる前に、 お知らせ！ 機器制御！！

- 設置場所の緯度・経度・地盤情報を登録し、その場所での地震情報をお知らせ！
- テレビ・ラジオ・携帯メールより早く伝える！
- 地震訓練としても大活躍！

学校に



レストランに



コンビニに



機能概要

- 気象庁より送られる地震(震源)情報は地震発生日時・緯度・経度・震源深さ・マグニチュードです。受信端末が設置された場所への“予測震度・猶予時間”を計算して、**音声と光**でお知らせします。
- **放送設備に連動して自動的に放送**することができ、放送設備起動までの遅延設定も可能です。
- パトライトやフラッシュライト等との連動による緊急事態告知やオートドアとの連動「パニックオープン」による揺れが来る前の**避難路の確保**等が可能です。
- 気象庁から配信された緊急地震速報により受信端末がお知らせした後、その緊急地震速報を取消す(気象庁が誤報であったと判断)『キャンセル報』を受信した場合、取消す旨の音声で鳴動し、音声終了後に接点出力の動作が復帰します。
- 地震の発生場所によりお知らせが地震到達に間に合わない場合や、推定数値に誤差が生じる場合、誤報を受信する場合がありますので予めご了承下さい。
- 本装置は地震到達を事前にお知らせするものであり、地震が発生した時の事前対策としてお役立て下さい。



自動ドア



電動シャッター

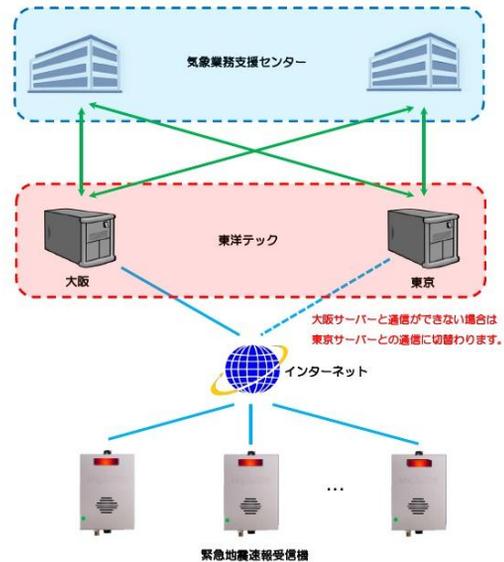


エレベーター



主な特徴

- 震度しきい値(受信端末がお知らせする最低震度)を2種類設定することができ、震度しきい値選択スイッチにて切替えることができます。
- 疑似的な緊急地震速報のテスト報を2種類設定することができ、テスト報ボタンの押し方によって動作させることができます。
- 24時間365日、監視センターにより受信機に異常がないかを見守ります。異常発生時には、管理者のPCまたは携帯電話へメールでお知らせします。
- 東京・大阪の2重化構成となっており、災害やメンテナンス等であっても、もう一方から確実に配信いたします。



製品仕様

外形寸法	98(W)×30(H)×120(D)mm
重量	195g
電源電圧	100V 50/60Hz (ACアダプタ使用)
定格入力電圧	5V±5%
消費電流	2A
許容瞬停時間	1サイクル以下但し、瞬時停電の間隔は1s以上
動作温度	0~50°C
保存温度	-20~60°C
緊急地震速報受信方式	IPv4 インターネット常時接続 TCP/IP
Ethernet	RJ45 10Base-T
外部音声出力	8Ω 0.5W
	RCA 式-10dBm±3dB 600Ω(1kHz) 不平衡
外部接点出力	700~800mVp-p
	1ch C 接点方式[a 接点/b 接点同時出力]
シリアル通信仕様	350V(Voff=max), 280V(Vdcd=max)
	90mA
シリアル通信仕様	USB×1ch コネクタ型式: 54819-0519 非同期(調歩同期式)シリアル 全2重通信 インターフェース/端末情報及び設定 LETOOL 間 ・ボーレート : 9600bps±200ppm ・データ長 : 8bit ・パリティ : 無 ・ストップビット : 1bit ・フロー制御 : 無

免責事項(気象庁)

緊急地震速報の原理的限界・技術的限界

(時間)

- ・速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は長い場合でも十数秒~数十秒
- ・震源に近いところでは、速報の発表が強い揺れの到達に間に合わない

(誤報)

- ・1観測点のデータを使っている段階ではノイズ等により速報を発表する可能性がある(事故や落雷、機器の障害等も含む)

(地震の規模等の推定の課題)

- ・特に大規模な地震に対しての推定精度の限界
 - 地下の断層の破壊の途中に速報を発表(断層の大きさや位置が未確定)
- ・複数の地震が時間的・空間的に近接して発生した場合に、地震を適切に分離できず、的確な速報を発表できないことがある

(震度予測の課題)

- ・統計的な距離減衰式による震度予測の精度の限界
- ・表層地盤における増幅予測の限界

■ お問い合わせ



株式会社 アイザック

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-35

Tel.06-6324-5800 Fax.06-4809-8636

<http://www.isaac.co.jp/>